

日本天文学会 1966 年秋季年会記事

○本会の昭和 41 年度秋季年会は 10 月 20 日(木)および 10 月 21 日(金)にわたって、京都府立勤労会館に於いて行なわれた。講演数 80, 理事会, 大塚奨学金選考委員会等が組込まれた。連日の出席者は約 170 人であった。

研究発表の数および座長は次の通りである。

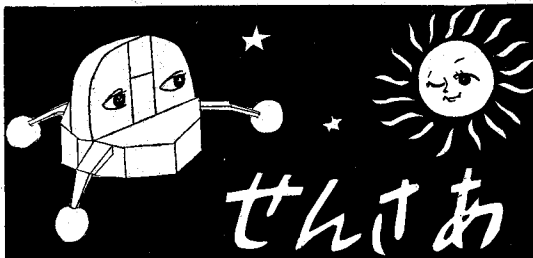
	研究発表数	座長
第 1 日(20 日) 午前	14	能田, 秋山
午後	26	末元, 鏡木
第 2 日(21 日) 午前	15	藤田, 田中

午後 25 虎尾, 奥田

○研究発表終了後奥田副理事長より挨拶があった。なお第 1 日(20 日)の夕刻懇親会が同館にて行われた。

○昭和 42 年度春季年会は東京で行うことを理事会(21 日)で申合せた。

○昭和 41 年度大塚奨学金は選考委員会(21 日)によって倉谷寛氏が受けることに決定した。同氏は富山市立天文台勤務にて、京都大学花山天文台、東京天文台堂平観測所等に於いて天体写真の研究を行うことが予定された。以上



☆ SAM 夏の勉強会の集録 第 6 回 SAM 夏の勉強会が八王子市下柚木の大学セミナー・ハウスで 7 月 28~31 日に行われた。今年は 50 名をこえる参加者によって、銀河の構造と進化について討論が行われ、一方写真測光観測者間の情報交換、将来計画等の懇談会も毎晩行われた。勉強会の集録は、160 頁。東大・理・天文学教室・高瀬文志郎まで御連絡下さい。頒価 350 円。

内容目次の一部: Galaxies の構造論, Galaxies の観測的諸量とその統計, Dynamics in Barred Galaxies, Radio-Source Phenomena and Magnetic Field in Radio and Normal Galaxies, On the Gravitational Instability in an Expanding Universe, Condensation due to Gravitational Instability and Thermal Instability in an Expanding Universe, Cosmic Black-Body Radiation, 星間 OH 分子からの線スペクトル, Energy Balance of Interstellar Gas, Shock Wave による Kinetic Energy の Dissipation, 乱流の加速, Magnetohydrodynamics of Galaxies, その他。

☆ 1963 年に出版された、鏡木政岐、宮地政司両東大教授の還暦を記念する論文集が 10 部ほど学会に寄贈されましたので、御希望の方に 1 冊 1,500 円(A5 判, 440 頁)でおわけしたいと思います。内容は両先生の後輩 51 名が、天文学の中の各自の専門分野における、最新の話題について解説したものです。

御希望の方は、葉書でその旨を学会宛お申し出下され

ば、残部の有無をお返事しますから、その上で代金をお払い込み下さい。送料当方負担でお送りいたします。

☆ 3 年ごとにひらかれる国際電波科学連合の第 15 回総会が、今年は西ドイツ ミュンヘンでひらかれた。(271 頁参照) 日本からも大勢の参加者があったが、天文関係では名古屋大学空電研究所の田中春夫氏、東京天文台の赤羽賢司氏、東北大学の高窪啓弥氏が参加された。

☆ 東京天文台の牧田貢氏は、7 月末から、太陽の研究のため、米国のカリフォルニア工科大学(ウイルソン・パロマー天文台がある)に滞在中であるが、このほど、東京天文台の寿岳潤氏も、恒星分光学等の研究のため、11 月のはじめに渡米、同大学に行かれた。なお、東大天文学教室の辻隆氏も、近々同じところに出張される予定であり、カリフォルニア工科大学も、日本からの天文学者で大変にぎやかになるわけである。

他にも、コロラド大学、CRPL などがかたまっている米国のコロラド州ボルダーや、ミシガン大学、シドニーの電波研究所などでも、日本からの天文学者が何人も集ったことがある。

なお、カナダ滞在中であった東大天文学教室の山下泰正氏と東京天文台の松波直幸氏及びアメリカ滞在中であった国土地理院の北郷俊郎氏はこのほどそれぞれ帰国された。

☆ 10 月 29 日、東京天文台の一般公開を本会が後援した。東京天文台の本館新築のため昨年は取り止めにになっていたことと、当日快晴に恵まれたことなどで、推定約 6000 人の参観者があった。昼間は各観測器械の公開、資料の展示、映画上映等があったが、ちょうどこの日は土星の環が消失する日にあたっていたため、夜間の天体観望にも多数の人が来台、65 センチ赤道儀をはじめ各望遠鏡とも長蛇の列ができるほどの盛況で、終了予定時刻を過ぎてはまだ捌ききれず、係員はあふれた人を断るのに汗だくの状況であった。

☆訂正 天文月報 9 月号の SAO 星表の記事のうち、201 頁の第 1 図と第 2 図の説明が入れかわりです。おわびして訂正いたします。